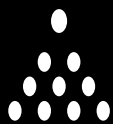


NTT
Data



音声処理技術は今、新しいステージへ

VOISTAGE[®]

ボイステージ
VS-803LM

取扱説明書



株式会社NTTデータ

はじめに

この度は、故障通報装置V S - 8 0 3 L Mをお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は保証書とともに大切に保管し、必要な時お読みください。

ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては予告なく変更する場合があります。

本機の仕様、デザインなどに関しては改良などのため予告なく変更する場合があります。



お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合または、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、人が障害を負う可能性や物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。




この記号は警告・注意を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が描かれています。

例)  「感電注意」を表わす絵表示



この記号は、してはいけない「禁止」内容を告げるものです。


記号の中や近くに具体的な内容が描かれています。








例)  「分解禁止」を表わす絵表示



この記号はしなければならない「強制」内容を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が描かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表わす絵表示

 警告	
 <p>本製品は絶対に分解や改造をしないでください。</p> <p>分解禁止 感電の原因になります。</p> <p>•ae 内部の点検や修理などは、販売店へご依頼ください。</p>	 <p>コンセントやプラグなど配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使用しないでください。</p> <p>禁止 定格を超えると発熱による火災の原因となります。</p>
 <p>水などをかけない・水などに浸さないでください。</p> <p>禁止 発熱や発火・感電の原因になります。</p>	 <p>通風口をふさいだり、機器の周りにものを置かないでください。</p> <p>禁止 内部に熱がこもり、発熱や火災の原因になります。</p>
 <p>異物を入れないでください。</p> <p>禁止 隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因になります。</p> <p>•ae 万が一、異物が入ったら、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店へご相談ください•B</p>	 <p>病院内など禁止された場所、区域では使用しないでください。</p> <p>禁止 (医療用電子機器や自動ドア、火災報知器など自動制御機器の近く、補聴器のそば、病院の中など)</p> <p>本機器からの電磁波が、医療用機器や電子機器、自動機器等に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となることがあります。</p>



警告



禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電の原因になります。



厳守

電源プラグのホコリなどは定期的に取りのぞいてください。

差し込み部分にゴミやホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



厳守

電源プラグは確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと、感電や火災の原因となります。



禁止

電源プラグやコードを破損するようなことはしないでください。

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理にいじる、曲げる、引っ張る、重いものをのせる)

感電、ショート、火災の原因になります。



爆発注意

蓄電池を火中に投げたり、加熱したりしないでください。

また、極端に温度の上がる場所に放置しないでください。

(炎天下の自動車内
直射日光のあたるところ
暖房器具の近く)

電解液の漏液、火災、爆発などの原因となります。



分解禁止







蓄電池を分解・改造・破壊しないでください。

電解液の漏液、火災、爆発などの原因となります。

蓄電池は内部に希硫酸を保持しています。蓄電池が破損して漏液し電解液が衣服や皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で流してください。目に入った場合は、すぐに水道水などキレイな大量の水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

希硫酸が目に入ると失明、皮膚に付くと火傷の原因になります。

 注意

 <p>厳守</p> <p>煙が出たり異常に熱くなったり、変な臭いがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電の原因になります。</p>	 <p>水場での使用禁止</p> <p>浴室や加湿器のそばなど、湿気の多い場所で使用しないでください。 火災や感電の原因になります。</p>
 <p>高温注意</p> <p>暖房器具の近くなど、高温となる場所には置かないでください。 内蔵している蓄電池の劣化を早め、電池が破損したり、漏液することがあります。 また、安全を保障できなくなり危険です。</p>	 <p>注意</p> <p>機器を設置するときは、ぐらついた台の上など、不安定なところには置かないでください。 人身を損傷させる恐れがあり、危険です。</p>
 <p>注意</p> <p>本装置は日本国内専用です。 本装置を日本国外で使用された場合、弊社は一切その責任を負いかねます。また弊社は本装置に対し、日本国外での技術サポートを行いませんので、予めご了承ください。</p>	 <p>注意</p> <p>本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、または高度な信頼性を必要とする設備や機器としてのご使用は意図されていません。 これらの設備や機器として本装置を使用され、故障などによる人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても弊社ではいかなる責任も負いかねます。</p>

いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

お取り扱いについて

ご使用にあたってのお願い

装置の設置、増設、移設、修理などはお買い上げの販売会社などにご相談ください。
電話工事担任者の資格が必要となる場合があります。

装置を落下させたり、強い衝撃や振動を与えないでください。
強い衝撃により、故障や破損の原因になります。

長期間ご使用にならないときは、万一の事故防止のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

電磁波発生源や磁気を帯びたものの近くではご使用にならないでください。
機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因となります。

お手入れについて

本製品は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどいときは、柔らかい布に中性洗剤をつけ固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください。
(石油類・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯など)

V S - 8 0 3 L Mについて

本製品は、音声・FAX応答装置(以下「音声応答装置」)等とアナログ電話回線の間接続して使用します。

音声応答装置等と利用者間の接続状態を監視することにより、音声応答装置の故障を検出してその装置を回線から切り離し、本機が代理応答して録音いただいた案内メッセージを送出します。

また、同時に登録いただいた電話番号をダイヤルし、録音いただいている通報メッセージを送出します。

V S - 8 0 3 L Mの機能

回線の監視

本製品は運転中、常に回線の状態を監視します。

次のような場合は、音声応答装置または回線の故障と判断し、設定の内容にしたがって案内を行ったり、また同時に通報を行いません。

- ・着信時、あらかじめ設定された時間以上たっても音声応答装置が応答しないとき
- ・通話中、あらかじめ設定された時間以上たっても通話を終了しないとき
- ・ナンバーディスプレイやダイヤルイン契約されている回線で音声応答装置をご使用のとき、規定されているとおりの回線制御を行なわなかったとき
- ・他の外部監視機器等からの信号を受信したとき

案内の機能

音声応答装置が故障しているときに電話がかかってきたとき、V S - 8 0 3 L Mは音声応答装置に代わって応答し、録音いただいた案内メッセージを送出することにより、音声応答装置の利用できない旨を利用者にお知らせします。

電話が切断されるか、案内メッセージを10回繰り返すまで、連続で送じます。

複数の着信があった場合でも、同時に案内メッセージを送出することができます。

通報の機能

音声応答装置に故障のあったときは、あらかじめ登録いただいた電話番号をダイヤルし、録音いただいた通報メッセージを送出することにより、音声応答装置の故障を通報します。

通報先には、3カ所まで登録いただけます。

通報時には、録音いただく通報メッセージと、故障した回線や故障の内容をお知らせする固定メッセージを合わせて送じます。

通報後もV S - 8 0 3 L Mのエラー状態が継続している場合、エラー状態が解除されるまで、監視時刻内は3時間毎に通報動作を繰り返し行います。

故障の履歴管理

音声応答装置の故障を検出したときの時刻、回線及び故障の内容を、10件まで履歴として保存します。

また、VS-803LMが通報を行なったときの通報先、及び日時も1件保存します。

故障や通報の履歴は、ディスプレイに呼び出して表示させることができます。

回線切替機能

音声応答装置の万一の故障に備え、予備の音声応答装置に電話回線を切り替える事ができます。呼びきりによる故障が発生したとき、本機は設定に従って電話回線をその装置から切り離し、予備の音声応答装置等に自動的に切り替えます。

またキー操作により、電話回線を運用中の装置から予備の装置に切り替えることも可能ですので、音声応答システムを停止させることなく機器のメンテナンスを行っていただけます。

本機が自動的に電話回線を切り替えることができるのは、音声応答装置が呼びきりによる故障を起こした時です。その他の故障を検出しても、自動的に音声応答装置を切り替えることはできません。

蓄電池の装備

本製品には蓄電池が内蔵されています。

通常のご使用中に充電を行ない、停電のときなども回線の監視を継続します。

内蔵の蓄電池で動作補償されるおおよその目安時間は、約5分間です。

電池による動作補償時間は、お使いの環境条件や電池充電レベルによって変わります。

VS-803LMの電源がOFFされた状態では充電されません。

電源スイッチをONにしていただき、POWERスイッチを操作して、VS-803LMの電源を投入した状態にしてください。

充電時間の目安は、約10時間です。

工場出荷時、電池は十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからご使用ください。

充電時間は、本機をお使いの環境条件により変化することがあります。

蓄電池は消耗品です。約3年に1回お取り替えが必要です。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

キーのロック

VS - 803LMをご使用中、不用意なキーの入力を防止するためにキーロック機能が装備されています。

VS - 803LM前面パネルの キーと運転キーを同時に2秒間以上押しつづけますと、キーはロック状態となり、POWERスイッチも操作できなくなります。

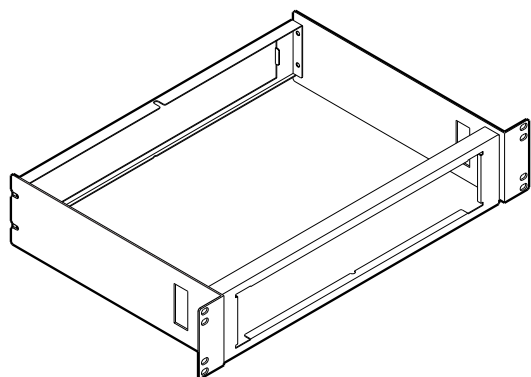
キーロックを解除するには、再度 キーと運転キーを2秒間以上押しつづけてください。

オプションについて

VS - 803LMと合わせてご使用いただける、下記のオプション品を用意しております。

ラックマウントキット

VS - 802LM - RK

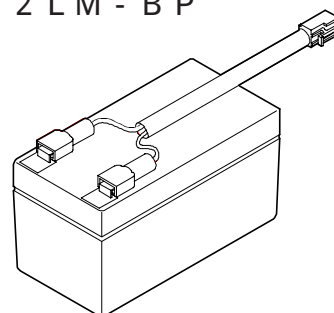


VS - 803LMを19インチラックに收容するとき、使用します。
ラックマウントキットは、JIS/EIAの両規格に対応します。

交換用バッテリー

VS - 802LM - BP

停電時の動作を保証する、蓄電池です。
室温(約20℃)で機器をご使用の場合、約3年に1回、電池をお取り替えください。



注意

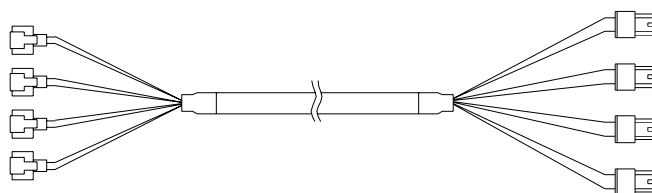
VS - 802LM - BPは、他の機器には絶対に使用しないでください。その機器を壊すなどの他、安全を保証できなくなり、危険です。

VS - 803LMには、他の電池を絶対にご使用にならないでください。

予備用音声応答装置接続ケーブル

VS - 803LM - CB

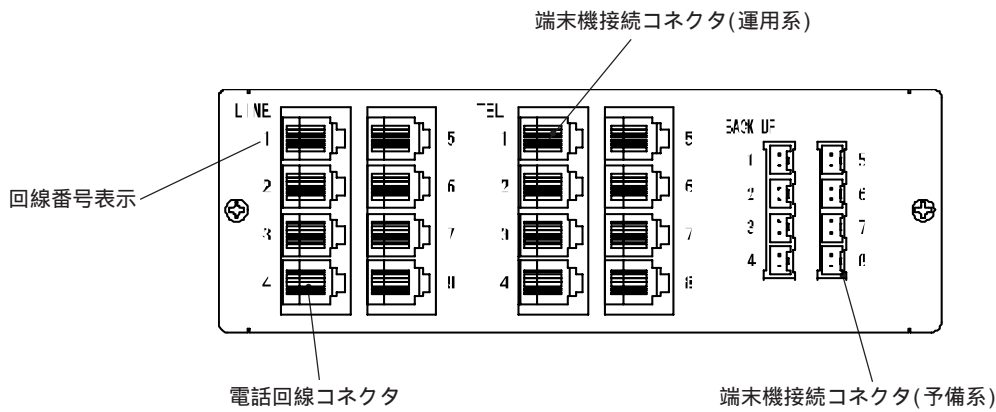
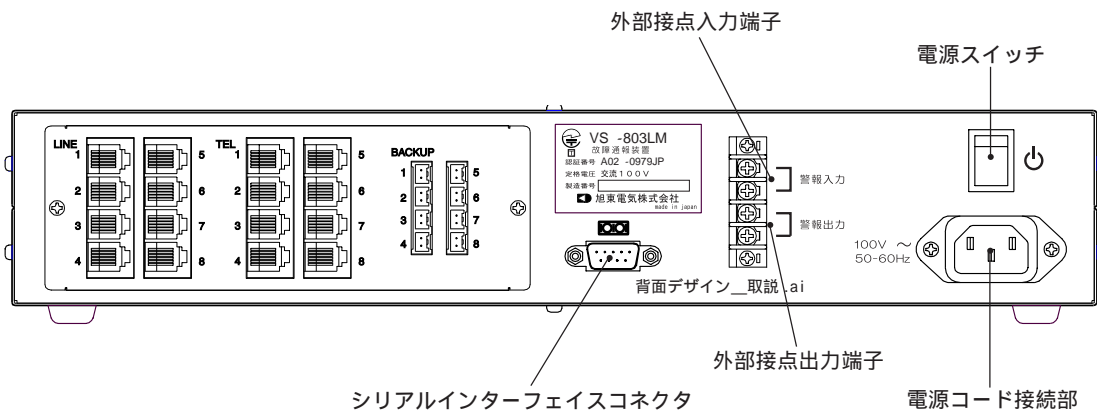
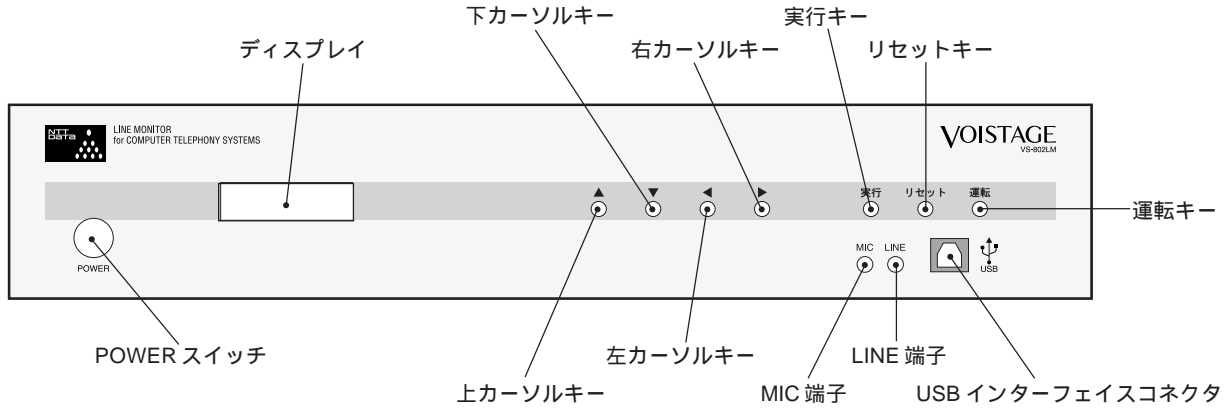
音声応答装置を二重化するなどのため、VS - 803LMの予備端末機接続コネクタと音声応答装置を接続いただくときに使用します。ケーブルの長さは1、2、3mがあります。本ケーブル1本で4回線收容しています。



オプション品をご用命の際は、製品お買い上げの販売店へお願いします。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ



各部のはたらき

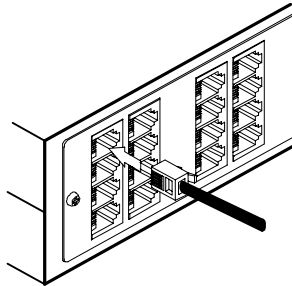
POWER スイッチ	装置の電源を入・切します。また、キーの内部にはランプがあり、点灯や点滅により装置の状態をお知らせします。									
	消灯	装置の電源は停止中です。								
	橙 - おそい点滅	電源ON時に初期化処理を行なっています。								
	橙点灯	回線監視の機能が停止しています。								
	緑点灯	運転中であることを示しています。								
	赤点滅	音声応答装置の故障を検出しました。								
	橙 - はやい点滅	装置が設定モードであることを示しています。								
	緑 - はやい点滅	装置が制御モードであることを示しています。								
電源スイッチ	交流電源の入力をON・OFFします。 電源スイッチがOFFであっても、装置は内蔵のバッテリーにより、動作が可能です。									
上カーソルキー 下カーソルキー 左カーソルキー 右カーソルキー	データ登録を行なうときに使用します。 この取扱説明書では、それぞれのキーを次のように表わしています。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">上カーソルキー</td> <td style="width: 25%;">キー</td> <td style="width: 25%;">左カーソルキー</td> <td style="width: 25%;">キー</td> </tr> <tr> <td>下カーソルキー</td> <td>キー</td> <td>右カーソルキー</td> <td>キー</td> </tr> </table>		上カーソルキー	キー	左カーソルキー	キー	下カーソルキー	キー	右カーソルキー	キー
上カーソルキー	キー	左カーソルキー	キー							
下カーソルキー	キー	右カーソルキー	キー							
実行キー	データ登録を行なうときに使用します。 各カーソルキーの操作で選択した内容を、選択・実行します。									
リセットキー	装置が音声応答装置の故障を検出し、通報や案内を行なう状態を解除し、音声応答装置の監視を再び開始します。 <p style="text-align: center;">通報やリダイヤル等の待機状態を解除 音声応答装置の監視を再開</p> 故障の内容により、自動的にリセットされる場合があります。 詳しくは「データ登録のしかた」をご参照ください。									
運転キー	運転キーを押すごとに、VS - 803LMの監視機能を稼動する・停止するの状態が変わります。データ設定を行なうときなどVS - 803LMの回線監視機能を稼動させる・停止させるときに操作してください。									
MIC 端子 LINE 端子	<p>附属のマイクや、他のオーディオ機器などを利用して案内や通報のための音声メッセージを録音するときに使用します。</p> <p>! MIC及びLINE端子は、一方にプラグが差し込まれると他方の回路が遮断されるように設計されています。 MIC・LINEの両端子に、2つのプラグを同時に差し込みますと、どちらからの音声も録音されません。</p>									

機器の接続

- ❗ 本製品は、NTTのアナログ公衆電話回線またはこれに準じた回線にのみ適合するように設計されています。
ISDN回線などには、絶対に接続しないでください。

電話回線の接続

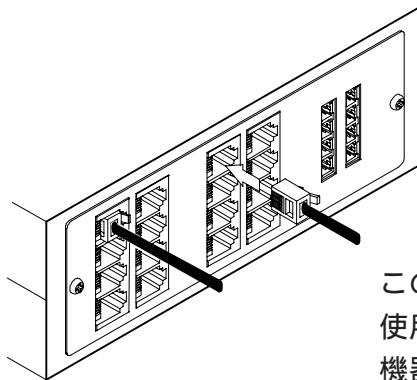
付属のモジュラケーブル（黒色）を、電話回線コンセントに差し込みます。
モジュラケーブルの片端を、電話回線コネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。



- ❗ 電話回線の工事を行う場合には、資格が必要です。別途有資格者による工事をお願いします。
- ❗ 電話回線コネクタには、絶対にISDN回線を接続しないでください。安全が保証できなくなり、危険です。

音声応答装置の接続

音声応答装置に付属のケーブルを使用し、端末機接続コネクタに差し込んで接続してください。
接続ケーブルを、音声応答装置のコネクタに差し込みます。

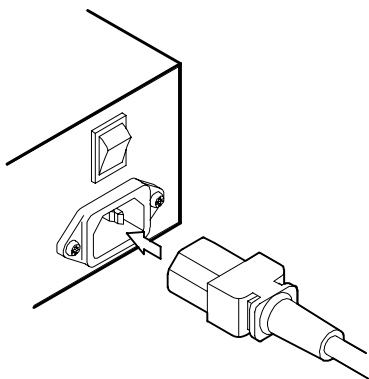


- ❗ VS-803LMの端末機接続コネクタに電話回線を接続しないでください。誤動作の原因になります。

この状態で、音声応答装置は回線に接続され、
使用できる状態になっています。
機器が正しく動作するかどうか、通話テストな
どでご確認ください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを、VS-803LMの電源接続部に差し込みます。
電源ケーブルのプラグを、電源コンセントに差し込みます。
VS-803LMの背面の電源スイッチを、ONにします。



- ❗ 電源ケーブルは、必ず本製品に付属のものをお使いください。安全を保障できなくなり、危険です。
また、VS-803LMの電源ケーブルを他の機器に使用しないでください。

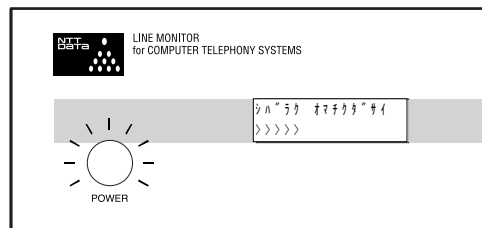
電源の投入

V S - 8 0 3 L M 前面の POWER スイッチを、約 2 秒間押しつづけます。

POWER スイッチが橙色に点滅し、V S - 8 0 3 L M は初期化処理を行ないます。

初期化が正しく終了しますと POWER スイッチは
橙色に点灯し、ご使用になれることをお知らせし
ます。

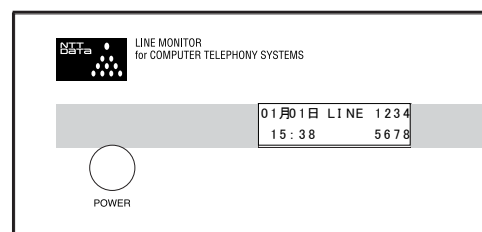
この取扱説明書の、データ登録のしかたをよくお
読みになり、お使いのシステムにあわせて V S -
8 0 3 L M の設定を行なってください。



登録いただいたデータは、装置の不揮発性メモリに保存され、電源を OFF されても消去される
ことはありません。

次回に電源 ON をされるときは、データを変更される必要のない限り、電源の投入 - 手順 を
省略していただけます。

運転キーを押すことにより、V S - 8 0 3 L M は
音声応答装置の監視を開始し、運転状態となります。

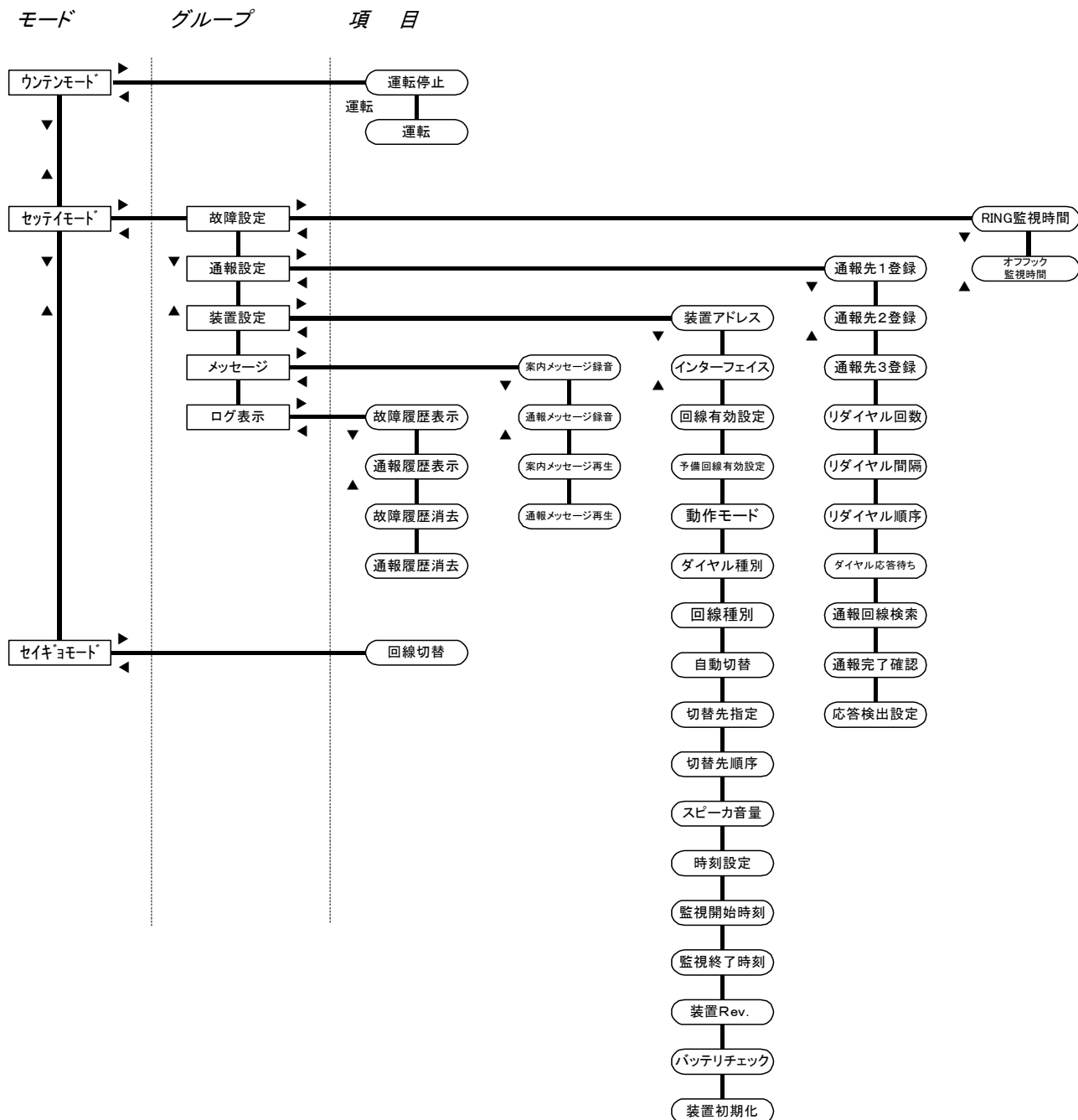


データ登録のしかた

VS-803LMを設定モードにして、お使いのシステムにあわせたデータを登録します。

機能メニュールートマップ

VS-803LMの運転・設定・制御の各モード及び機能は、階層的に構成されています。



・ キーでスクロール表示させ、選択したいモードをディスプレイに表示させてください。キーを押すことによりそのモードが選択されます。キーを押すと、モード選択表示に戻ります。

VS - 803LMを設定モードにする。

運転の停止

VS - 803LMは、回線の監視機能が稼働中 - 運転中や、音声応答装置の故障を検出し通報などを行なっているときは、データの登録や変更ができません。

運転キーやリセットキーを操作して、回線監視機能を停止させてください。

VS - 803LMが運転中のとき

POWERランプが緑色に点灯していれば、VS - 803LMは運転中です。

運転キーを1回押して、運転を停止させ、回線の監視機能を停止させてください。

POWERランプが橙色に点灯していれば、VS - 803LMは運転を停止しています。

VS - 803LMが故障を検出しているとき

POWERランプが赤色に点滅していれば、VS - 803LMは音声応答装置の故障を検出して通報を行ったり、着信があった場合には代理応答をしています。

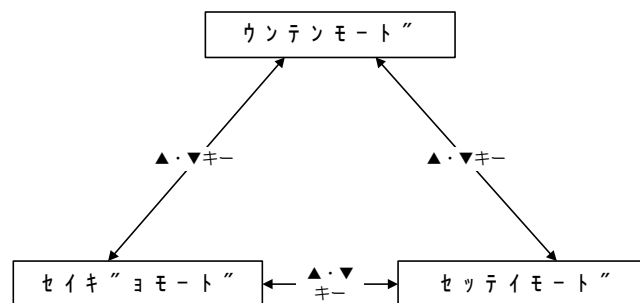
リセットキーを1回押して、故障を検出している状態からリセットさせてください。

VS - 803LMがリセットしますと、POWERランプは緑色に点灯し、運転中の状態に復帰します。この後、VS - 803LMが運転中のときの手順にしたがって、回線の監視機能を停止させてください。

設定モードにする

キーを1回おすと、VS - 803LMのモードが選択できるようになります。

キー、キーをおして設定モードを表示させ、キーで選択してください。



設定モードが選択されると、POWERランプは橙色に点滅します。

キー、キーを押して項目を選択し、データを登録してください。

データを登録する。

・ キーや ・ キーを操作してデータ登録をしたい項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押すと、現在登録されている内容を表示して選択した項目のデータが登録できるようになります。

V S - 8 0 3 L Mで登録可能なデータは、以下のとおりです。

グループ

	データの名称	ディスプレイの表示	データの内容
故障設定 コショウセッテイ			
	RING 監視時間	リング カンシシ`カン	音声応答装置が応答をするまでの時間
	オフフック監視時間	OFFHOOK カンシシ`カン	着信応答による通話の連続時間
通報設定 ツウホウセッテイ			
	通報先 1 登録	ツウホウサキ No. 1	通報先 1 の電話番号を登録する
	通報先 2 登録	ツウホウサキ No. 2	通報先 2 の電話番号を登録する
	通報先 3 登録	ツウホウサキ No. 3	通報先 3 の電話番号を登録する
	リダイヤル回数	リダイヤルカイスウ	通報不達時、再ダイヤルを行なう回数
	リダイヤル間隔	リダイヤルカンカク	次の再ダイヤルまでの時間を設定する
	リダイヤル順序	リダイヤルシ`ユンシ`ヨ	再ダイヤル時の通報先 1 ~ 3 の順序
	ダイヤル応答待ち	ダイヤルアウトウマチ	ダイヤル後通報先の応答までの時間
	通報回線検索	ツウホウカイセンケンサク	通報を行なうときの回線捕捉順序を登録
	通報完了確認	ツウホウカンリョウカクニン	通報完了とする方法を登録する
	応答検出設定	アウトウケンシュツ	通報先の受話検知方法を登録する
装置設定 ソウチセッテイ			
	装置アドレス	ソウチアド`レス	装置識別用の論理的アドレスを登録する
	インターフェイス	インターフェイス	シリアル - USB を選択する
	回線有効設定	カイセンユウコウセッテイ	監視の対象とする回線を登録する
	予備回線有効設定	ヨビカイセンユウコウセッテイ	予備系回線の有効設定を登録する
	動作モード	ト`ウサモード`	"案内"と"通報"のアクションを選択
	ダイヤル種別	ダイヤルシュハ`ツ	接続する電話回線のダイヤル種別を登録
	回線種別	カイセンシュハ`ツ	電話回線の種別を登録する
	自動切換	シ`ト`ウキリカエ	故障時、電話回線を他装置に切り替える
	切替先指定	キリカエサキシテイ	回線の切替先を指定する
	切替先順序	キリカエサキシ`ユンシ`ヨ	切替先の装置検索順序を登録する
	スピーカ音量	スピー`カオンリョウ	内蔵スピーカの音量ボリュームの調節
	時刻設定	シ`コクセッテイ	年月日・時間を合わせる
	監視開始時刻	カンシスタートシ`コク	監視を開始する時刻を設定する
	監視終了時刻	カンシストップ`シ`コク	監視を停止する時刻を設定する
	装置初期化	ソウチショキカ	登録したデータをすべて初期化する
メッセージ メッセ`シ`セッテイ			
	案内メッセージ録音	アンナイメッセ`シ`ロクオン	案内メッセージをMIC・LINEから録音する
	通報メッセージ録音	ツウホウメッセ`シ`ロクオン	通報メッセージをMIC・LINEから録音する





RING 監視時間

機能	<p>回線に着信があったとき、音声応答装置が応答するまでの時間を設定します。この時間を経過しても音声応答装置が応答しないときは、故障と判定します。お使いの電話回線が、ダイヤルインやナンバーディスプレイなどであれば、端末電話装置が情報要素取得の一次着信を終了した後の時間になります。</p> <p>一度故障を検出したのち、次回の着信に登録されている時間内で正しく応答を行なった場合は音声応答装置が復帰したものと判定し、故障検出の状態から自動的にリセットします。</p>
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、最初に対象とする回線の問合せがディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを押して登録する回線をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択してください。 <p>ディスプレイには現在の登録値が表示されます。 ・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。</p>
設定値	<p>[0 0 0] ~ [1 8 0] / 2ステップごとで、単位は秒です。</p> <p>回線に着信があったとき、音声応答装置がこの登録値以内で応答をしなければ、故障と判定されます。</p> <p>また、登録される値が[000]であるときは、RING 監視を行いません。</p>




オフフック監視時間

機能	<p>音声応答装置が着信応答やダイヤルなどにより、オフフックしてからオンフックするまでの時間を登録します。</p> <p>この時間経過後も音声応答装置がオンフックしないときは、故障と判定します。</p> <p>本機はこの故障を検出すると、回線から音声応答装置を切り離します。その後3分ごとに音声応答装置に電話回線を再接続し、オンフックされているかどうか、確認を行います。</p> <p>オンフックされていることが確認されますと、音声応答装置が復帰したものと判定し、故障検出の状態から自動的にリセットします。</p>
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、最初に対象とする回線の問合せがディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを押して登録する回線ディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択してください。 <p>ディスプレイには現在の登録値が表示されます。 ・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。</p>
設定値	<p>[0 0] ~ [9 9] / 単位は分です。</p> <p>登録される値が[00]であるときは、音声応答装置のオフフックを監視しません。</p>

通報先 1 ~ 3 登録

機能	<p>音声応答装置の故障を検出したとき、通報先の電話番号を登録します。 最大で 16 桁までの電話番号に対応します。 通報先 1 ~ 3 のすべてに登録が無い場合、V S - 8 0 3 L M は他データの内容に関わらず通報を行ないません。また、通報先 1 ~ 3 のいずれかの登録が無い場合、リダイヤル時にデータのないところはスキップして動作します。</p>									
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、現在登録されている電話番号が表示されるとともに、電話番号の先頭桁(ディスプレイでは左下)にアンダーカーソルが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを操作してカーソルを左右に移動させ、・ キーを押して数字を選択し登録してください。 <p>数字を消去するには、</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを操作して、桁ごとに空白(スペース)を表示させてください。 <p>通報先の電話番号をすべて設定し、実行キーを押すことにより登録されます。</p> <p> 番号の途中で空白がありますと、そこで番号の終わりとしてしまいます。登録される電話番号は必ず左詰めとし、途中で空白を挿入しないでください。</p>									
設定値	<p>[0] ~ [9]、[#]、[*] が番号数字として使用できます。また、[_] を指定しますと、次のダイヤルまでの間に約 3 秒間のポーズを置くことができます。</p> <table><tr><td></td><td>ダイヤル種別</td><td>リダイヤル回数</td></tr><tr><td></td><td>リダイヤル間隔</td><td>リダイヤル順序</td></tr><tr><td></td><td>ダイヤル応答待ち</td><td>応答検出設定</td></tr></table> <p>の項目に関連があります。</p>		ダイヤル種別	リダイヤル回数		リダイヤル間隔	リダイヤル順序		ダイヤル応答待ち	応答検出設定
	ダイヤル種別	リダイヤル回数								
	リダイヤル間隔	リダイヤル順序								
	ダイヤル応答待ち	応答検出設定								

リダイヤル回数

機能	<p>音声応答装置の故障を検出して通報を行なったとき、V S - 8 0 3 L M は通報が完了するまで、登録されている通報先 1 から 3 まで順次変更しながら、リダイヤルを行ないます。</p> <p>ここでは、リダイヤルを行なう回数を登録します。</p> <p>リダイヤル回数は、すべての通報先に対して定義されます。</p> <p>通報先が 3 ヲ所であっても、ダイヤルを行う回数は登録した値になります。</p>						
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、ディスプレイには現在の登録値が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。						
設定値	<p>[00] ~ [99] で、単位は回です。</p> <table><tr><td></td><td>通報先 1 ~ 3 登録</td><td>リダイヤル間隔</td></tr><tr><td></td><td>リダイヤル順序</td><td>ダイヤル応答待ち</td></tr></table> <p>の項目に関連があります。</p>		通報先 1 ~ 3 登録	リダイヤル間隔		リダイヤル順序	ダイヤル応答待ち
	通報先 1 ~ 3 登録	リダイヤル間隔					
	リダイヤル順序	ダイヤル応答待ち					

ダイヤル応答待ち

- 機能** 通報時にダイヤルをしてから、通報先の応答を待つ時間を登録します。
V S - 8 0 3 L Mは通報時に、この時間以上経過の後も通報先が応答をしなければいったん切断した後、次の通報先へリダイヤルを行いません。
- 操作** この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、ディスプレイには現在の登録値が表示されます。
・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。
- 設定値** [02] ~ [60] / 2ステップごとで、単位は秒です。



通報先 1 ~ 3 登録
リダイヤル間隔
応答検出設定

リダイヤル回数
リダイヤル順序

の項目に関連があります。

通報回線検索

- 機能** V S - 8 0 3 L Mが通報を行なうとき、使用する回線を検索する順序を登録します。
通報時には、登録された値にしたがって、通話のない空き回線を検索し、通報を行いません。
回線番号は、本体裏面のパネルに記載されています。
- 操作** この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、ディスプレイには現在の登録値が表示されます。
・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。
- 設定値** [0]、[1]
[0]のとき、回線番号 1 から、空き回線を検索します。
[1]のとき、回線番号 8 から、空き回線を選択します。

通報完了確認

- 機能** V S - 8 0 3 L Mが通報を行なったとき、通報先がメッセージを受け取り、通報が完了したことを知る方法を登録します。
通報が完了しますと、リダイヤル動作は停止します。
- 操作** この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、ディスプレイには現在の登録値が表示されます。
・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。
- 設定値** [M S G]、[P B]
[M S G]のとき、通報メッセージを 1 回すべて送出するまで切断されなければ、通報完了とします。
[P B]のとき、通報中メッセージ送出中に、P B 信号で通報先から 1 # を受信しますと、メッセージの送出途中であっても通報の完了になります。

応答検出設定

機能

通報時における通報先の応答検出方法を設定します。

通常、V S - 8 0 3 L Mは通報時、網の極性反転を契機に、登録された通報メッセージを送出しております。従いまして、フリーダイヤル、内線等の極性反転が無い回線を通報先に指定された場合、通報メッセージ送出手が行う事が出来ません。その場合、この項目でタイマの値を設定してください。

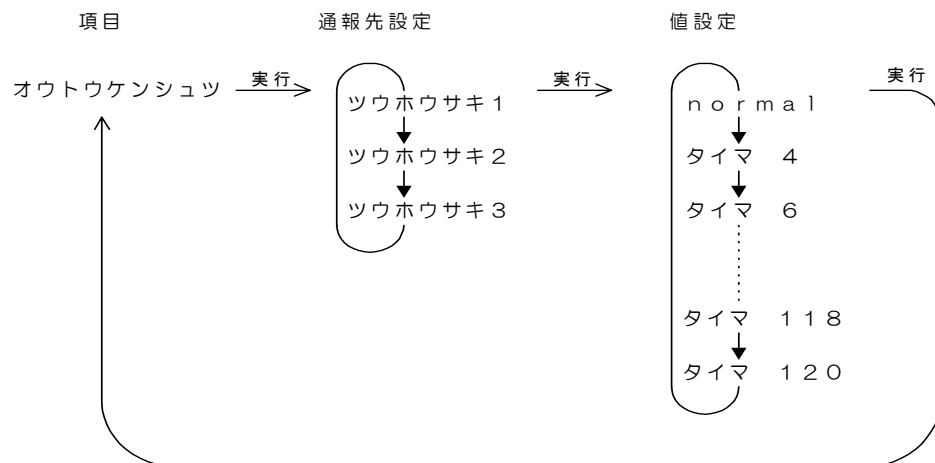
このタイマはダイヤル終了後よりカウントを行い、タイムアップしますと、網による極性反転が無くても、自動的に通報メッセージ送出手を行います。

この項目は通報先ごとに設定する事が可能です。

操作

この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押し、**・** キーにより通報先を選択し、もう一度実行キーを押しますと、現在登録されている値がディスプレイに表示されます。

- ・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。



設定値

[normal]、[タイマ4] ~ [タイマ120]

[normal]: 網の極性反転により通報メッセージを送出します。

[タイマ4] ~ [タイマ120]: タイマにより通報メッセージを送出します。

2ステップごとで単位は秒です。

ⓘ タイマ設定にしますとダイヤル応答待ちの設定は無効となります。

☞ ダイヤル応答待ち 通報先1 ~ 3登録の項目に関連があります。

装置アドレス

機能	<p>複数のV S - 8 0 3 L Mが稼動するシステムなどで、個体を区別するためのアドレスを登録し、運用することが可能です。</p> <p>故障を検出して通報するとき、登録いただいた装置アドレスを含む合成メッセージを生成し、録音いただいた通報メッセージと合わせて送じます。</p> <p>この装置アドレスをご活用いただくことにより、どの装置からの通報か、ご確認いただくことができます。</p>
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、現在登録されている値が表示されるとともに、装置アドレスの先頭桁にアンダーカーソルが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを操作してカーソルを左右に移動させて登録する桁にカーソルを移動させ、・ キーを押して登録したい数字を選択してください。 <p>実行キーを押すことにより登録されます。</p>
設定値	[0 0 0] ~ [1 2 7]

インターフェイス

機能	<p>V S - 8 0 3 L Mに装備するインターフェイスのうち、R S - 2 3 2 C規格に準拠したシリアルインターフェイスと、U S B規格1.1に準拠したインターフェイスを選択します。</p> <p>付属の接続ケーブルを使用して外部の機器と接続するときは、必ずこの登録操作でインターフェイスを選択してください。選択されなかったインターフェイスは、ご使用になることができません。</p> <p>シリアル、U S Bインターフェイスとも、付属のソフトウェアでのみご利用いただくことが可能です。</p> <p>工場出荷時、インターフェイスはR S - 2 3 2 Cに設定されています。</p> <p>! このインターフェイスを使用して外部機器と接続される場合は、必ず本製品に付属のケーブルをご使用ください。接続できないなどの原因になることがあります。</p>
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押しますと、現在選択されているインターフェイスがディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを押してインターフェイスを選択し、実行キーを押して登録してください。
設定値	[R S - 2 3 2 C] R S - 2 3 2 C [U S B] U S B

回線有効設定

機能	V S - 8 0 3 L Mが運転中、監視の対象とする回線番号を登録します。ここで有効に設定された回線についてのみ、V S - 8 0 3 L Mは監視を行いません。
操作	この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、最初に設定を行なう回線の問い合わせがディスプレイに表示されます。 ・ キーを押して登録する回線を表示させ、実行キーを押して回線を選択してください。 登録する回線を選択いただいた後、 ・ キーを操作して、有効にするか無効にするかを選択し、登録してください。
設定値	[1ウコウ]、[ムコウ] [1ウコウ]: 回線を機能上有効なものとし、監視の対象にします。 [ムコウ]: 回線を機能上無効なものとし、網終端の機能のみ提供します。


動作モード


機能	V S - 8 0 3 L Mが故障を検出したときに行なう、案内と通報の組み合わせを選択し、登録します。
操作	この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、動作モードの設定が登録できるようになります。 ・ キーを操作して、設定値を選択し、実行キーを押して登録します。
設定値	[0] ~ [3] [0]: 案内の機能と通報の機能の両方が動作します。 [1]: 通報の機能のみ動作し、案内機能は動作しません。 [2]: 案内の機能のみ動作し、通報機能は動作しません。 [3]: 案内と通報の、両方の機能が動作しません。

ダイヤル種別

機能	V S - 8 0 3 L Mに接続する電話回線のダイヤル種別を、登録します。 通報を行うとき、ここで登録された内容に従いダイヤルを行います。 なおV S - 8 0 3 L Mは、10ppsのダイヤルパルスには対応していません。
操作	この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、最初に設定を行う回線の問合せがディスプレイに表示されます。 ・ キーを操作して登録する回線を表示させ、実行キーを押して回線を選択してください。 登録する回線を選択いただいた後、 ・ キーを操作してダイヤル種別を選択し、登録してください。
設定値	[P B]、[D P] [P B]: プッシュボタンダイヤル [D P]: ダイヤルパルス(20pps)

回線種別

- 機能** ダイヤルインやナンバーディスプレイなど、V S - 8 0 3 L Mに接続いただく電話回線のサービス契約種別を登録します。
V S - 8 0 3 L Mはこの登録に従い、端末電話装置の情報要素取得のための一次着信手続きを監視します。
- 操作** この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、最初に登録する回線の問合せがディスプレイに表示されます。 ・ キーを操作して回線を表示させ、実行キーを押して登録する回線を選択してください。
回線を選択いただいた後、 ・ キーを操作して回線種別を選択し、実行キーを押して登録してください。
- 設定値** [Normal]: 一般の電話回線
[Number_D]: ナンバーディスプレイ
[Dial IN]: PB 信号方式によるダイヤルイン
[Modem IN]: モデム信号方式によるダイヤルイン
-  [Number_D] [Dial IN]および[Modem IN]に設定の場合、お使いの環境により、まれにエラーの誤報を起こす事があります。その際は本設定を[Normal]に設定ください。(ただしこの場合エラーコード16の検出を行いません)

 故障コードと故障の内容について
の項目に関連があります。

自動切替

- 機能** 端末電話装置が登録された時間以上経過しても着信に応答しなかったときなど、電話回線を他の電話端末装置に切替えるかどうかを登録します。
[キョカ]に設定すると故障発生時、自動で切替先指定設定、切替先順序設定に従い次の有効に設定されている回線の端末電話装置に切替を行います。切替後の端末電話装置も登録された時間内に応答しなかったときは、さらに次の切替先へと順次切替を行っていきます。切替先が無くなった場合、動作モード設定にて案内を行う設定であれば案内を、それ以外は最後に切り替えた回線でそのまま着信を継続します。
- 自動切替を行えるのは、以下の端末電話装置の故障のときだけです。
 RING 監視時間で登録された時間以上経過しても、応答しないとき
 ナンバーディスプレイ回線で、一次着信に応答しなかったとき
- 操作** この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、自動切替の設定が登録できるようになります。 ・ キーを操作して自動切替の許可・禁止を選択し、実行キーを押して登録してください。
- 設定値** [キョカ]、[キンツ]
[キョカ]: 故障発生時、電話回線を切替えます
[キンツ]: 電話回線を自動で切替えません。

 切替先指定 切替先順序 回線有効 予備回線有効 動作モード
の項目に関連があります。

切替先指定

機能 VS - 803LMが自動切替を行うとき、電話回線の切替先を運用系に接続された端末電話装置にするか、予備系に接続された端末電話装置にするかを選択し登録します。

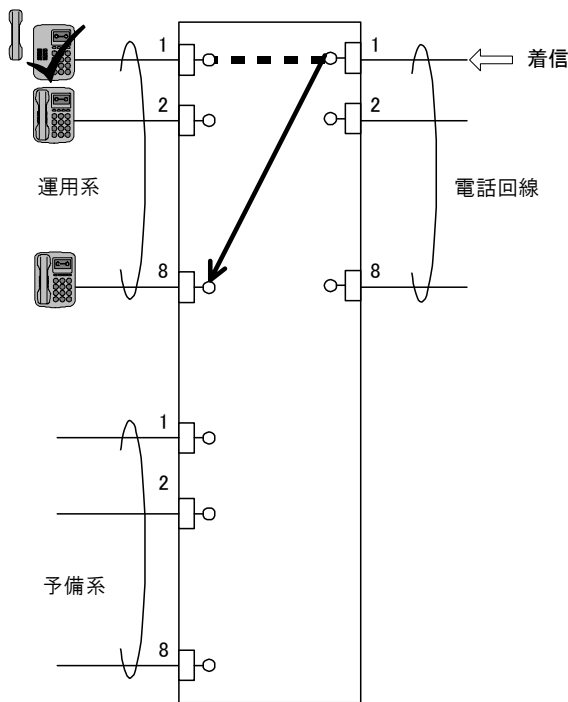
操作 この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、切替先指定を選択し登録できるようになります。

- ・ キーを操作して切替先を選択し、実行キーを押して登録します。

設定値 [ウヅヅ]、[ヰヰ]、[スヰテ]

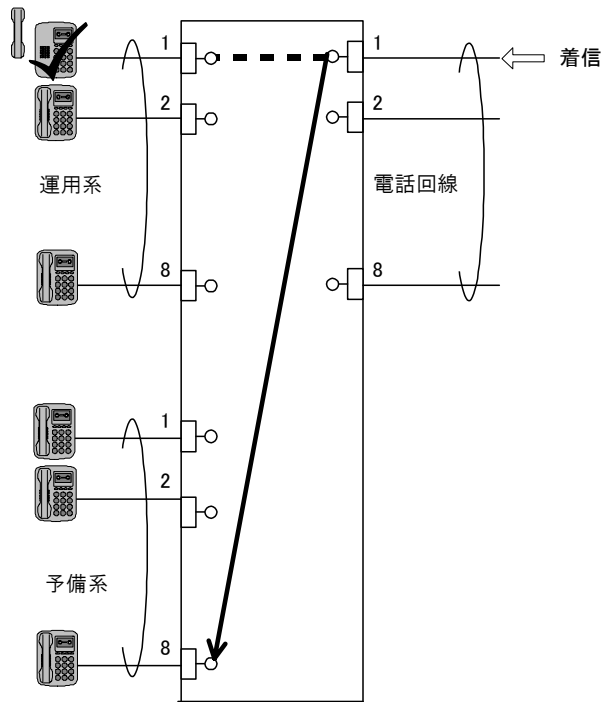
[ウヅヅ]: 運用系に接続された端末電話装置に電話回線を切替えます
[ヰヰ]: 予備系に接続された端末電話装置に電話回線を切替えます
[スヰテ]: 運用系及び予備系に接続された端末電話装置に電話回線を切替えます。

☞ 自動切替 切替先順序 回線有効設定 予備回線有効設定
の項目に関連があります。



[ウヅヅ]に登録されているとき

運用系に接続されている端末電話装置より、切替先を選択します。



[ヰヰ]に登録されているとき

予備系に接続されている端末電話装置より、切替先を選択します。

[スヰテ]に登録されているとき

運用系、予備系に接続されている端末電話装置より、切替先を選択します。

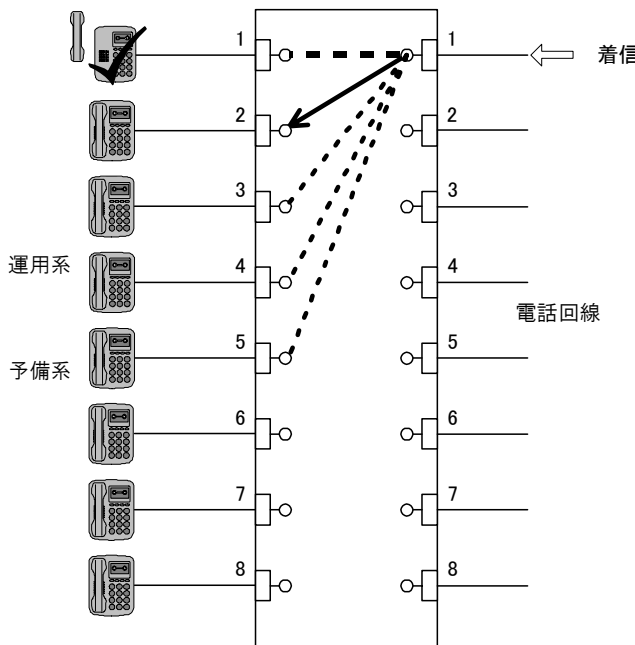
⚠ 回線有効設定、予備回線有効設定で有効に設定されていない回線には切替を行いません。

切替先順序

- 機能** VS - 803LMが自動切替を行うとき、運用系または予備系に接続する端末電話装置のうち、電話回線の接続先の選択を回線番号の昇順で行うか、降順で行うかを選択し、登録します。
- 操作** この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押してください。切替先順序を示す値を **・** キーを操作して選択し、実行キーを押して登録します。
- 設定値** [0]、[1]
 [0]: 昇順で切替接続します
 [1]: 降順で切替接続します

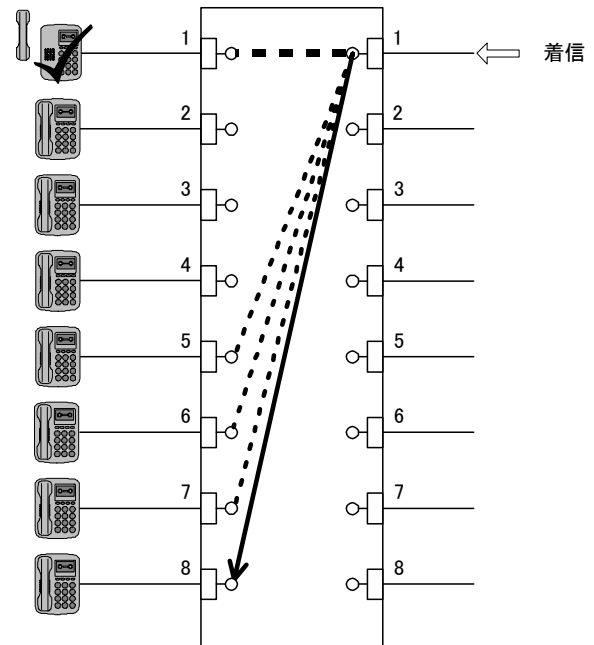
 自動切替

切替先指定
 の項目に関連があります。



[0]: 昇順に登録されているとき

運用系または予備系のうち、回線番号1から空いている端末電話装置を検索し、回線を切替えます。



[1]: 降順に登録されているとき

運用系または予備系のうち、回線番号8から空いている端末電話装置を検索し、回線を切替えます。



切替先指定が、[ス*テ]に登録されているとき、
 [0]昇順では運用系の回線番号1より検索し、
 [1]降順では予備系の回線番号8から検索を開始します。

スピーカ音量設定


機能	V S - 8 0 3 L Mには録音いただいた案内・通報のメッセージをご確認いただくためのスピーカを、装置の底面に装備しています。ここではこのスピーカの音量を調整します。
操作	この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、スピーカの音量を設定し登録できるようになります。 <ul style="list-style-type: none">・ キーを操作して、音量を設定し、実行キーを押して登録します。
設定値	[0] ~ [7] [0]: 最小の設定です。 [7]: 最大の設定です。

時刻設定

機能	V S - 8 0 3 L Mに内蔵の時計をセットします。
操作	この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、内蔵されている時計をセットすることができるようになります。 ディスプレイには、西暦下 2 桁 / 月 / 日 時(24 表示): 分が表示され、設定できる桁にはアンダーカーソルが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・ キーを押して年・月・日・時・分を選択し、<ul style="list-style-type: none">・ キーで値を設定してください。 最後に実行キーを押したとき、内蔵の時計を変更します。 最後に実行キーを押して登録したとき、自動的に秒データは " 00 " にセットされます。
設定値	年 : 西暦下 2 桁 : [00] ~ [99] 月 : [0 1] ~ [1 2] 日 : [0 1] ~ [3 1] 時 : [0 0] ~ [2 3] 分 : [0 0] ~ [5 9]

予備回線有効設定

機能	予備系回線の有効設定を登録します。
操作	この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押して選択しますと、ディスプレイには現在の登録値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・ キーを使用して値を調整し、実行キーを押して登録してください。
設定値	[0] ~ [8] [0]: 予備系の回線を全て無効に設定します。 (予備系回線を使用しない場合この設定にしてください) [8]: 予備系の回線番号 1 ~ 8 (全て)を有効設定にします。

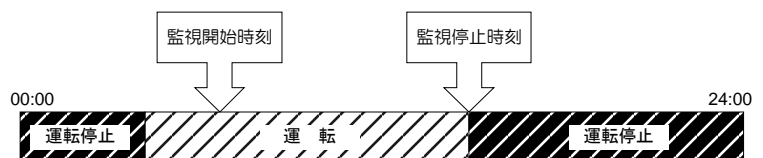
 この設定は予備系の回線番号 1 から設定値の値だけ回線を有効に設定します ([4] に設定した場合は回線番号 1 ~ 4 を有効に設定) 従いまして、予備系に端末電話装置を接続される際は必ず、回線番号 1 から順次接続願います。

監視開始時刻

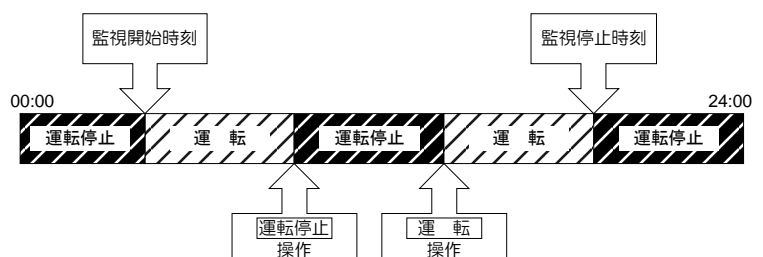
機能	<p>回線の監視を開始させる時刻を登録します。</p> <p>監視終了時刻の登録と合わせてご利用いただくことにより、V S - 8 0 3 L M を運転させる時間帯を予約させることができます。</p> <p>登録された時刻になりますと、自動的に運転停止 (POWER ランプが橙に点灯) から運転 (POWER ランプが緑に点灯) になります。</p> <p>手動などですでに運転の状態であるときは、何も機能を行ないません。</p>
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押します。</p> <p>現在登録されている時刻表示に、アンダーカーソルが表れます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを操作して時 : 分を選択し、・ キーで設定した後に、実行キーを押すと登録されます。
設定値	<p>時 : [0 0] ~ [2 3]</p> <p>分 : [0 0] ~ [5 9]</p> <p>監視開始時刻と監視終了時刻の両方を [0 0] 時 [0 0] 分としますと、24 時間の連続運転を行ないます。</p>

監視終了時刻

機能	<p>回線の監視を終了させる時刻を登録します。</p> <p>監視開始時刻の登録と合わせてご利用いただくことにより、V S - 8 0 3 L M を運転させる時間帯を予約させることができます。</p> <p>登録された時刻になりますと、自動的に運転 - POWER ランプが緑色 - から運転停止 - POWER ランプが橙に点灯 - になります。</p> <p>手動などですでに運転停止の状態であるときは、何も機能を行ないません。</p>
操作	<p>この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押します。</p> <p>現在登録されている時刻表示に、アンダーカーソルが表れます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーを操作して時 : 分を選択し、・ キーで設定した後に、実行キーを押すと登録されます。
設定値	<p>時 : [0 0] ~ [2 3]</p> <p>分 : [0 0] ~ [5 9]</p>



監視開始・終了時刻と
運転キーによる操作との関係



装置初期化

機能	VS - 803 LMに登録されている全てのデータを、工場出荷時の状態に戻します。 ただし、時刻設定で登録いただいた年月日・時間は初期化されません。
操作	この項目をディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、装置初期化を行なうか[シ ッコウ]、操作を取り消すか[キャンセル]を、 ・ キーを操作して選択し、実行キーを押すことにより機能します。
設定値	[シ ッコウ]:装置初期化を実行し、時刻設定を除く全てのデータを初期化します。 [キャンセル]:操作を取り消し、項目の選択に戻ります。

案内メッセージ録音

機能	案内メッセージを附属のマイク・またはオーディオ機器のLINE OUT 端子から録音します。 録音時間は最大16秒で、VS - 803 LMの不揮発性メモリに保存されます。 ! オーディオ機器を使用して録音されるときは、必ずモノラル対応のLINEケーブルをご使用ください。 ステレオタイプのプラグには対応していません。
操作	この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押すとすぐに録音が始まります。 16秒以内で録音を終了されるときは、再度実行キーを押しますと、その時点で録音を終了しメッセージを登録します。録音が16秒を超えるときは、16秒経過した時点で録音を終了し、自動的にメッセージを登録します。 録音を途中で取り消したいときは、リセットキーを押してください。

通報メッセージ録音

機能	通報メッセージを附属のマイク・またはオーディオ機器のLINE OUT 端子から録音します。 録音時間は最大16秒で、VS - 803 LMの不揮発性メモリに保存されます。 ! オーディオ機器を使用して録音されるときは、必ずモノラル対応のLINEケーブルをご使用ください。 ステレオタイプのプラグには対応していません。
操作	この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押すとすぐに録音が始まります。 16秒以内で録音を終了されるときは、再度実行キーを押しますと、その時点で録音を終了しメッセージを登録します。録音が16秒を超えるときは、16秒経過した時点で録音を終了し、自動的にメッセージを登録します。 録音を途中で取り消したいときは、リセットキーを押してください。

いろいろな機能の使い方

V S - 8 0 3 L Mを設定モード、または制御モードにさせていただくことにより、いろいろな機能をご使用になれます。

バッテリーチェック

モード

設定モード
[セッテイモード]

グループ

装置設定
[ソウチセッテイ]

項目

バッテリーチェック
[ハッテリチェック]

機能

停電時や電源スイッチをOFFにされているときなど、内蔵の蓄電池が充電されていないときに、蓄電池の残量を表示します。

充電中は電池残量の測定ができません。必ず充電を停止してください。

操作

この項目を選択してディスプレイに表示させているとき、内蔵蓄電池の残量を表示します。

F [□ □ □] E : 電池は充電されています。

F [□ □] E : 電池の残量が残り少なくなっています。

F [□] E : 電池が放電し、動作が継続できない状態です。

案内メッセージ再生

モード

設定モード
[セッテイモード]

グループ

メッセージ
[メッセージセッテイ]

項目

案内メッセージ再生
[アナイメッセージサイ]

機能

装置に録音されている、案内メッセージを再生します。

操作

この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押すとすぐに案内のメッセージが再生されます。

再生を途中で停止させるには、リセットキーを押してください。

通報メッセージ再生

モード

設定モード
[セッテイモード]

グループ

メッセージ
[メッセージセッテイ]

項目

通報メッセージ再生
[ツウホウメッセージサイ]

機能

装置に録音されている、通報メッセージを再生します。

操作

この項目をディスプレイに表示させ、実行キーを押すとすぐに通報のメッセージが再生されます。

再生を途中で停止させるには、リセットキーを押してください。

故障履歴表示

モード	グループ	項目
設定モード [セッテイモード]	ログ表示 [ロクヒョウシ]	故障履歴表示 [コショウリレキ]

機能 VS - 803LMが検出した音声応答装置などの故障の履歴を、ディスプレイに表示します。

故障の履歴は、最新のものから過去の順で、1～10と表示されます。

故障の履歴が10件を超えるときは、古いものから順に消去されていきます。

操作 この項目を選択してディスプレイに表示させ、実行キーを押すと、故障履歴を表示します。

- ・ キーを操作すると、1～10件目の履歴をスクロールし表示します。故障履歴の表示を終了させるには、再度実行キーを押してください。

通報履歴表示

モード	グループ	項目
設定モード [セッテイモード]	ログ表示 [ロクヒョウシ]	通報履歴表示 [ツウホウリレキ]

機能 VS - 803LMが最後に通報を行なったときの履歴を表示します。

ディスプレイには、月日：時間、通報先(No1～No3)、及び結果が表示されます。

操作 この項目を選択してディスプレイに表示させ、実行キーを押すと、通報履歴を表示します。

通報履歴の表示を終了させるには、再度実行キーを押してください。

故障履歴消去

モード	グループ	項目
設定モード [セッテイモード]	ログ表示 [ロクヒョウシ]	故障履歴消去 [コショウリレキクリア]

機能 管理している故障の履歴を、すべてクリアします。

操作 この項目を選択してディスプレイに表示させ、実行キーを押すと機能します。

故障履歴のクリアを行うかの問合せがディスプレイに表示されますので、

- ・ キーを操作して[シッコウ]または[キャンセル]を選択し、実行キーを押してください。

通報履歴消去

モード	グループ	項目
設定モード [セッテイモード]	ログ表示 [ロクヒョウシ]	通報履歴消去 [ツウホウリレキクリア]

機能 管理している通報の履歴を、クリアします。

操作 この項目を選択してディスプレイに表示させ、実行キーを押すと機能します。

通報履歴のクリアを行うかの問合せがディスプレイに表示されますので、

- ・ キーを操作して[シッコウ]または[キャンセル]を選択し、実行キーを押してください。

故障コードと故障の内容について

V S - 8 0 3 L Mが音声応答装置の故障の内容を通報するときや履歴を管理するときは、故障コードで管理しています。

この故障コードと、具体的な故障の内容については、以下の表をご参照ください。

故障コード	故障の内容	関連する登録データ
0 0	外部接点の入力	
1 6	ナンバーディスプレイやダイヤルイン回線で、端末電話装置による一次着信の持ちきり	回線種別
2 1	登録した時間以上経過しても着信に応答しない ナンバーディスプレイ回線で、一次着信手続きせず	RING 監視時間 回線種別
2 2	登録した時間以上の連続通話	オフフック監視時間

- ❗ 発生した故障の内容によっては、電話回線との接続が切断されてしまい、V S - 8 0 3 L Mが代理応答して案内メッセージを送出することができません。次の場合には、V S - 8 0 3 L Mが故障検出時に代理応答して案内メッセージを送出することはできません。

故障コード： 1 6 故障の内容： ナンバーディスプレイやダイヤルイン回線で、
端末電話装置による一次着信手続きの持ちきり

ただし、故障を起こした端末電話装置の接続される回線を含めて、通話されていない電話回線があれば、V S - 8 0 3 L Mはすべての故障の内容を設定に従って通報を行います。

ダイヤルイン及びナンバーディスプレイなどの詳細につきましては、第1種通信事業者の発行する技術的な参考資料などをご参考ください。

回線切替

モード

制御モード

[セイキョモード]

項目

回線切替

[ホトリカイセツイ]

機能

V S - 8 0 3 L Mに接続している電話回線の接続先を、運用系の端末電話装置から予備系の端末電話装置に手で切り替えたり、復帰させたりします。

操作

この項目を選択してディスプレイに表示させて実行キーを押しますと、最初に切替または解除を行う回線の問合せがディスプレイに表示されます。

切替える・解除する回線を キーを押して選択し、実行キーで決定します。ディスプレイには現在の状態が表示されていますので、 を押して選択し、実行キーを押してください。

通話中などにより回線が使用中であれば、回線を切り替えることができません。

装置の電源をOFFにされると、切替の状態はすべて運用系に接続されるように復帰してしまいます。

この回線切替の状態は、不揮発性メモリに保存されません。

おもな仕様

VS - 803LM

適用回線	アナログ電話回線	
通信サービス	ダイヤルイン、ナンバーディスプレイ	
回線接続方式	電話回線、端末電話装置 RJ-11 モジュラコネクタ	予備の電話装置 通信コネクタ
収容回線数	8回線	
質量	約5.5kg	
外形寸法 (mm)	約360(幅) × 305(奥行) × 72(高さ)	
使用環境条件	周囲温度 0 ~ 35、相対湿度 45 ~ 80% R.H	
保存環境条件	周囲温度 -10 ~ 50、相対湿度 35 ~ 85% R.H	
JATE認証番号	A02-0979JP	
電波障害自主規制	VCCI class A	
電源	交流(AC) 100V ± 10%、50 / 60 Hz	
消費電力	30 VA	

VS - 802LM - RK

適用形式	19インチ規格ラック JIS/EIA 共用
占有サイズ	2U
質量	約1.5 kg
外形寸法 (mm)	約482(幅) × 310(奥行) × 88.1(高さ)

VS - 802LM - BP

種別	小型制御弁式鉛蓄電池
電圧・容量	12V、1.2 Ah
質量	約630 g
外形寸法 (mm)	約48(幅) × 97(奥行) × 97(高さ) コネクタ、ケーブル、端子をのぞく。
使用環境条件	周囲温度 0 ~ 35、相対湿度 45 ~ 80% R.H
保存環境条件	周囲温度 -20 ~ 50、相対湿度 35 ~ 85% R.H

VS - 803LM - CB

コネクタ	6極モジュラプラグ(端末電話装置接続) 2P通信コネクタ(VS-803LMの予備系コネクタに接続)
収容回線数	4回線
ケーブル長	1m、2m、3m

V S - 8 0 3 L M

故障通報装置

取扱説明書 第3版

平成16年10月

VOISTAGE は株式会社NTTデータの登録商標です。

その他、記載されている会社名および製品名などは各社の商標または、登録商標です。

本取扱説明書の内容は予告なく変更することがあります。

本製品に関するお問い合わせは、下記 E-mail でお願いします。

E-mail : info@voistage.com

**NTT
Data**



株式会社NTTデータ

〒135-6033 東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル

VOISTAGE インフォメーションダイヤル

☎ 0120-00-5062

24時間、VOISTAGEの最新情報を音声またはFAXで取り出せます。

URL <http://www.voistage.com>

E-mail: info@voistage.com

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

RHT-00002